

ダムだより

No.61



2018.6.19

国土交通省
四国地方整備局
山鳥坂ダム工事事務所
TEL 0893-34-3000
FAX 0893-34-3358



平成30年度 洪水対応演習の様子

「ダムだより61号」目次

- 平成30年度の主な事業実施予定／鹿野川湖「桜の植樹会」について ……P 2
- 山鳥坂ダム建設事業の進捗状況及び工事の予定……………P 3
- 鹿野川ダム改造事業の進捗状況及び工事の予定……………P 4
- 出水期に向けて 鹿野川ダムからのお知らせ／
鹿野川湖湖面利用ルールについて……………P 5
- 元気人紹介……………P 6

山鳥坂ダム職員によるブログをホームページで公開しています。
地域の情報などを発信していますのでぜひ一度ご覧ください。

[山鳥坂ブログ](#)

[検索](#)



平成30年度の主な事業実施予定

山鳥坂ダム建設事業関連

引き続き、水没予定地等関係する皆様の生活再建、地域振興を最優先に、用地補償、付替道路工事（見の越トンネル）などを進めています。また、ダム本体、付替道路関連の測量設計、地質調査なども行います。

| 項目 | 主な実施予定内容 |
|----|--|
| 用地 | 湛水地、付替道路にかかる用地取得 など |
| 工事 | 付替道路工事及び工事用道路・現道拡幅工事 など |
| 業務 | 水理水文観測、地下水調査、環境調査（動物、植物など）、地質調査、道路設計、用地調査 など |

鹿野川ダム改造事業関連

トンネル洪水吐呑口部の流入水路、吐口部の減勢工、機械設備などの整備を推進し、平成30年度の完成を目指します。また、貯水池の水質改善を図るために設置した曝気循環などのモニタリングも引き続き行います。

| 項目 | 主な実施予定内容 |
|----|----------------------------|
| 工事 | トンネル洪水吐本体工事、機械設備工事、流木処理 など |
| 業務 | 水理水文観測、水質調査、地下水調査 など |

鹿野川湖「桜の植樹会」について



桜植樹会に参加したメンバー

3月11日（日）に、第7回目となる桜の植樹会を開催しました。

講師の愛媛大学江崎先生よりご指導いただいた後、参加者約40名が4班に分かれて、肱川中学校の生徒8名が中心となり、合計12本の桜の苗木を植えました。

鹿野川ダムでは、平成22年より桜の植樹に取り組み、これまでに240本の桜を植えてきました。

今回が仕上げの植樹会で、今後は苗木周辺の除草や、枯れかけている桜の伐採をしながら、必要に応じて補植を行い、適切に管理していくこととしています。毎年春には鹿野川湖周辺に桜が咲くよう皆様と一緒に大切に育てて行ければと思っています。



江崎先生の植樹指導



急斜面での作業は大変！



穴掘りが一番大変でした！



苗木をしっかり植え付けました

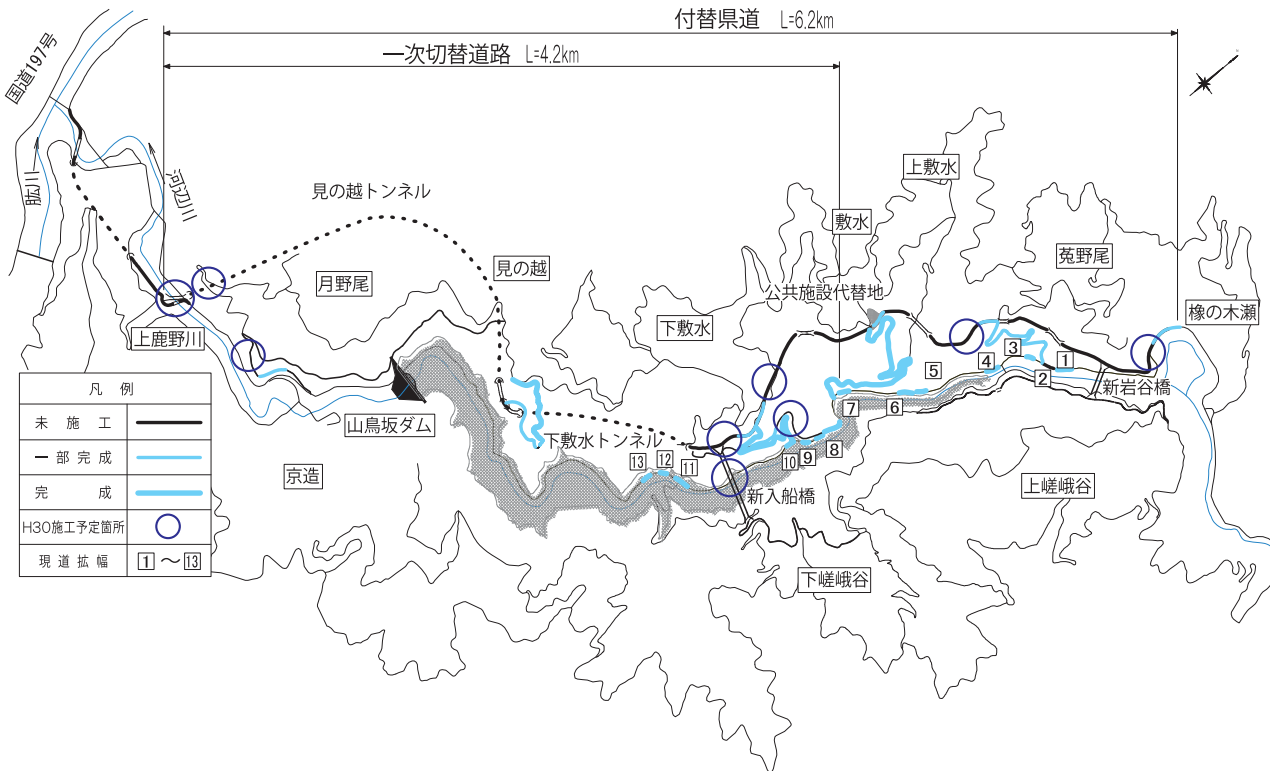


苗木が倒れないよう竹の棒にひもで固定しました

山鳥坂ダム建設事業の進捗状況及び工事の予定

現在、上鹿野川地区、下敷水地区、菟野尾地区、椽の木瀬地区において、県道（主要地方道小田河辺大洲線）の付替工事や工事用道路工事、現県道の拡幅工事を進めています。今年度は下図の○印の箇所において工事を行う予定です。

工事の実施にあたり、土砂を運搬するダンプトラックなどの通行が多くなっており、近隣にお住まいの皆様、道路を通行される皆様にご迷惑をお掛けして申し訳ありません。地元車両の通行の優先や昼間のライト点灯を徹底するなど、地域の皆様の生活への支障が生じないように努めてまいりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



工事実施状況

付替県道の
新設工事
(仮橋架設等)
＜上鹿野川地区＞



平成 28 年 11 月時点



平成 30 年 5 月時点

工事用道路の
新設工事
＜見の越地区＞



平成 28 年 7 月時点



平成 30 年 5 月時点

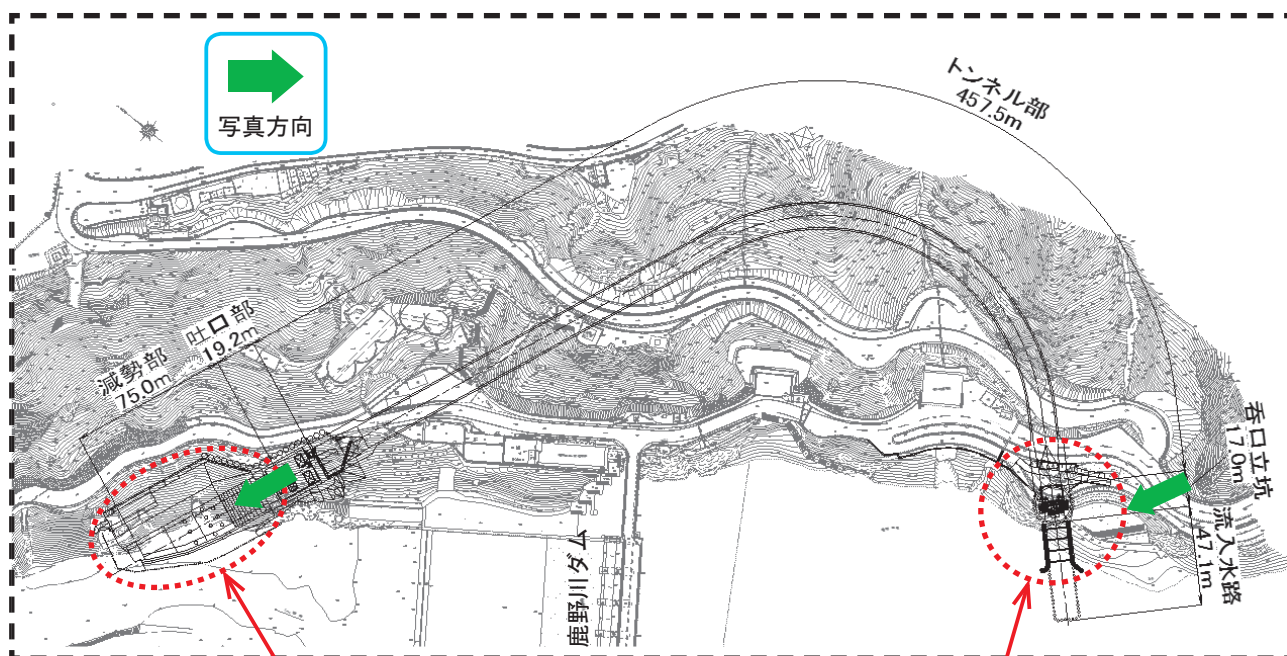
鹿野川ダム改造事業の進捗状況及び工事の予定

肱川下流域における洪水被害の軽減と河川環境（水質・水量）の改善を目的として鹿野川ダム改造事業を実施しています。現在、河川環境の改善を目的とした選択取水設備などについては完成し運用中、洪水被害の軽減を目的としたトンネル洪水吐の工事は引き続き進めているところです。

トンネル洪水吐については、引き続き上流側の呑口部でゲート設備などの作業と流入水路の掘削作業を行っています。また、下流側の吐口部については、減勢部を整備しています。

5月末には呑口・吐口のゲート操作などを行うための操作室が完成するなど、着実に工事は進んでいる状況ですが、依然として、現場周辺では工事用車両が多数走行し、資機材の搬出入や夜間作業などによる騒音などでご迷惑をおかけして申し訳ありません。工事現場周辺においては、今後とも一般交通の安全など十分配慮して参りますので、何卒ご理解をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

また、鹿野川ダムでは工事現場などの見学を行っています。現在施工中のトンネル洪水吐関連工事の現場やダムの操作室、ダムの中（監査廊）などいろいろな施設を見学することができますので、見学を希望される方は鹿野川ダム管理所までご連絡ください。



平成 30 年 5 月時点



平成 30 年 5 月時点

出水期に向けて 鹿野川ダムからののお知らせ

鹿野川ダムでは、大雨が降った場合に普段より多い量の水を放流します。ダムから放流を行う際には、放流の1時間前に川沿いの警報所からサイレンと放送により河川利用者へ放流のお知らせをしています。予期せぬ降雨などの場合、警報が夜間・早朝になることもあり、ご迷惑をお掛けするかもしれませんが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

また、鹿野川ダムの貯水位、流入量、放流量、雨量などの情報は以下から入手可能となっています。

【パソコン・スマートフォンによる方法】

<http://www.river.go.jp>
(国土交通省川の防災情報)へアクセス

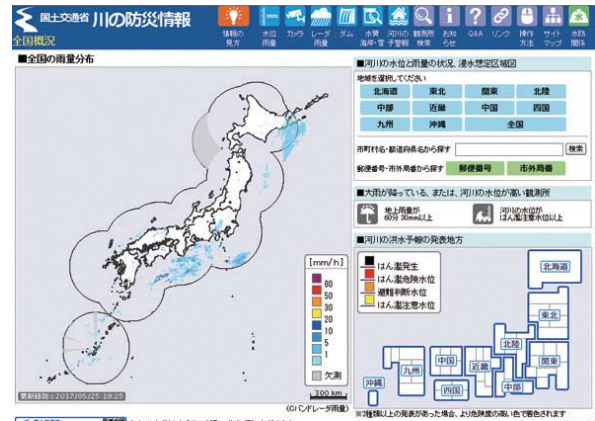


【携帯電話による方法】

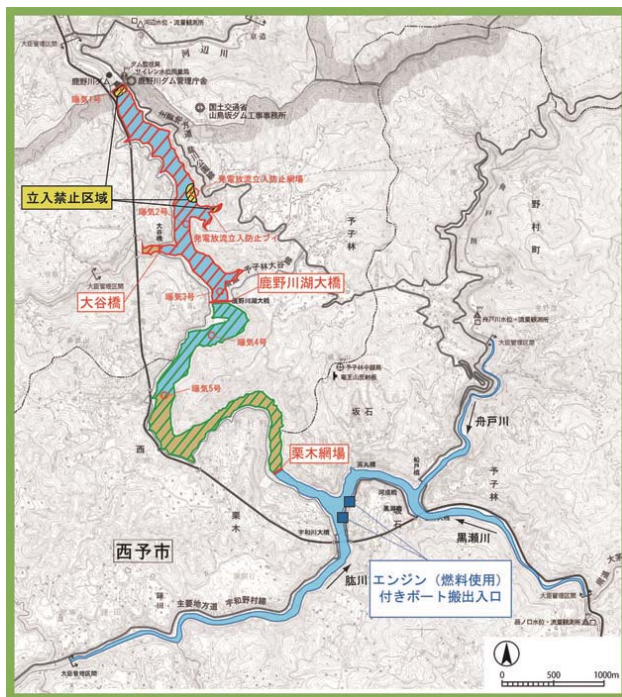
<http://i.river.go.jp>
(国土交通省川の防災情報)へアクセス

【電話による方法】

0893-34-2891へ電話



鹿野川湖湖面利用ルールについて



【凡例】

- :【通年】エンジン(燃料使用)付きボートの利用不可(ダム堤体～鹿野川湖大橋)
- :【8月1日～翌年5月31日】エンジン付きボートの利用不可(鹿野川湖大橋～栗木網場)
- :【9月20日～翌年4月10日】オシドリ保護区域(大谷橋より上流の支川、礫気5号～栗木網場)
- :立入禁止区域(ダム網場～堰堤、発電放流立入防止網場、発電放流立入防止パイ)

エンジン(燃料使用)付きボートの利用範囲

鹿野川湖では、平成27年4月から湖面利用ルールの運用を開始し、みなさまの節度ある利用のおかげで適切な湖面利用が図られているところです。

鹿野川湖湖面利用ルールの理解を深めるためのポイントをご紹介します。

鹿野川湖湖面利用ルールのポイント

- 一人一人に入湖証を発行
ボートなどで湖面に入る方は全員入湖証が必要です。
- 入湖証は毎年度更新
入湖証の有効期限は3月31日までなので、毎年度、申請が必要です。
- 利用区域の制限
エンジン付きボートの利用の制限や、9月20日から翌年4月10日まではオシドリ保護区域を設けています(左図参照)。

これからも、鹿野川湖の周辺住民に対する配慮も忘れずに湖面利用をお願いいたします。

～元気人（げんきびと）紹介～

第7回目となる今回は、垣根クラブ初代会長をされていた和氣時子さんをご紹介します。



和氣さんは、上嵯峨谷地区にご主人との2人暮らしです。3歳になるひ孫さんからは「ひいばあちゃん」と呼ばれ、月に1回くらい家に遊びに来てくれるとのです。「来たら家の中を元気に走り回るのよ。」と目を細められる和氣さんは、笑顔のすてきな岩谷のお母さんです。

○ 和氣さんに若さの秘訣を伺いました。

近所の人達と集まって話しをすることや花を作ったり野菜を作ってみみんなで分け合って食べたりすることが楽しいです。

和氣さんに、平成9年に活動を開始された垣根クラブについて伺いました。

○ 活動を始めたきっかけは何ですか。

岩谷地区が、ダムができると湖底に沈んでしまうと聞いた時にひらめきました。「周辺などに住まわれている方々が、水没予定地内を訪れた際などに、どんな気持ちになるのだろうか」、「自治センター周辺に花でも植えていたら、それを見て少しは心を和ませてもらえるのではないか」と思い、花づくりを始めました。

○ 活動を始めた頃のことをお聞かせください。

はじめは花を植えるだけでしたが、次第に落ち葉を集めて堆肥づくりまでするようになりました。メンバーは誰もいやとは言わず、協力してもらえました。何もない所に植えた「あじさい」や「つつじ」は、今もあちらこちらに残っています。

○ 活動を続けていく上でご苦労などはありませんでしたか。

メンバー全員が協力的で熱心に活動しています。「ここはこうしよう」、「次はこうしよう」などと相談しながらやっているの、とても楽しいです。苦労はありません。

○ メンバーは何人ですか。どのくらいの頻度で活動されていますか。

毎月1回くらい「花壇の手入れ」や「花植え」などをやっています。

5、6人のメンバーでスタートし、平成27年には9人いたメンバーもダムで移転となり、今は始めた頃の数に戻ってしまいました。こうなることは分かっていたけれど、現実になると寂しいです。



4月4日、岩谷自治センター下グラウンドでの作業風景

「クラブには、一日でも長く活動を続けて欲しいです。人数も減り、メンバーも年を取り、能率も悪くなってきましたが、皆で和気藹々（わきあいあい）と話しをしながら作業をしています。」と話していただいた和氣さん、今後もお元気で綺麗な花を咲かせてください。楽しみにしております。

なお、垣根クラブではメンバーを募集中で、男女を問わず、若い人も大歓迎、また、毎回参加できなくても時間があるときに参加してもらえたらありがたいとのことです。



4月9日の取材当日は、チューリップやパンジーが見事な花を咲かせていました